

2018年9月11日



帝都自動車交通株式会社

今後需要拡大が予想される海外要人送迎車への対応 トヨタの最高級車『新型センチュリー』をハイヤー車輦として9月12日導入

帝都自動車交通株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:篠崎敦)は、海外要人向けとしてトヨタの最高級車「新型センチュリー」をハイヤー車輦に3台導入します。そのうち1台を先行して9月12日に導入します。



当社に導入したトヨタ新型センチュリー



広々とした車内

■導入背景

背景には、今後ますます増加が予想される海外要人送迎車の需要があります。2020年を前に、来年は新元号に伴うセレモニーやラグビーワールドカップ2019日本大会の開催など、日本が世界の表舞台に立つ機会が多くなります。当社は、様々な国内・国際イベントで皆様の快適な移動をお手伝いするため、常時、新型車種のハイヤーを導入しています。

■導入した新型センチュリーの特長

トヨタ自動車の高級車「センチュリー」は1997年以来21年ぶりに全面改良された新型車両です。ショーファーカーに相応しい車体正面の「鳳凰(ほうおう)」のエンブレムは、職人が1カ月半かけ金型を彫り込みました。車内のシートは本革張りで、車室の後席にはマッサージ機能をつけ、ひじ置きタッチパネルでは音響やカーテン開閉などが操作できるようになっています。エンジン音を別の音で打ち消し、室内空間の静けさを



新型センチュリーのシンボルともいえる車体正面の「鳳凰(ほうおう)」のエンブレム

を保つ機能も搭載しています。振動が少なく、移動中に新聞や雑誌も読める快適さを追求しています。またハイブリッドエンジンにより、排出ガスが削減されることも今モデルの特長です。

■今後の展開

帝都自動車交通株式会社は、今後もハイヤー事業の新サービス向上に向け、邁進していきます。

■導入した新型センチュリーの概要

全長×全幅×全高（mm）：5,335×1,930×1,505

ホイールベース（mm）：3,090

エンジン 型式： V8・5.0L 2UR-FSE

仕様：(1) 本革張りシート

(2) 後部座席にマッサージ機能搭載

(3) 後部座席ひじ置きタッチパネルに以下機能搭載

・カーテン開閉 ・音響機能

(4) 移動中の振動少

(5) エンジン音を別の音で消音

(6) ハイブリッドエンジン搭載



■会社概要

名称： 帝都自動車交通株式会社

代表者： 代表取締役社長 篠崎敦

本社所在地： 東京都中央区日本橋 1-21-5

ホームページ： <http://www.teito-mot.com>

設立： 1938年4月1日

資本金： 500,000,000円

従業員数： 1,800名

主要事業： ハイヤー・タクシーによる一般乗用旅客自動車運送事業 ほか